Voice of Customer

Vol.2 たいや内科クリニック 様

Ryan Scope・Julie Eye



〒471-0052 愛知県豊田市逢妻町2丁目18-4



お話を伺った　院長 加藤大也先生（後列左から2番目）と、
糖尿病看護認定看護師 鈴木泰子さん（前列の一番左）

**内科・眼科の連携を強化し、
地域に根ざした
適切な医療を提供**

**糖尿病患者様の
網膜症に対する情報提供・
啓発へ取り組み**

ご施設紹介

“たいや内科クリニック”は、愛知県豊田市にある糖尿病・甲状腺・内科クリニックです。院長の加藤大也先生は長年にわたり糖尿病、甲状腺疾患及び生活習慣病の早期治療に取り組んでいらっしゃいます。日本糖尿病学会認定の糖尿病専門医（研修指導医）、甲状腺専門医、総合内科専門医が在籍しており、地域の患者様に寄り添った治療を実施しています。経験豊富な看護師や管理栄養士、臨床検査技師がチーム一体となって患者様一人ひとりにより適切なテーラーメイドの医療を届けています。糖尿病教室や健康セミナーも定期的に開催し、地域の方々の健康啓発に積極的に取り組んでいらっしゃいます。（クレアボ）

Ryan Scope・Julie Eyeを導入した経緯をお聞かせください

当院がある豊田市では、医師会が作成した眼科マップが提供され、糖尿病患者様に対し、眼科受診を推進する取り組みが行われています。しかしながら、仕事の都合等で眼科受診の予定を組む事が難しい方も多くいらっしゃいます。そのため、内科で眼底撮影を行い、眼底画像を院内で確認すると共に、網膜症に対する啓発活動に寄与できたらと考え導入を決めました。実際、口頭で眼科受診を薦めるよりも、眼底写真を用いて「このような所見がみられるため、眼科での検査をご検討ください」と説明が行えるようになり、合併症に対する意識づけにつながっています。これまでの検査から、眼科での精査をご案内し、追加の検査が行われたケースもありました。眼科の定期受診が習慣化された事はとても良かったと思います。（加藤先生）

眼科受診への働きかけに変化はありましたか？

日常の診療フローに本機器での撮影を組み込むことで、眼科受診を促すきっかけ作りができています。地域で内科と眼科が連携し、眼科受診がルーティーン化される仕組みは重要ですし、それぞれの診療科が縦割りになるのではなく、足並みを揃えて取り組むことが大事だと感じています。（加藤先生）

※本資料は医療従事者向けの情報提供を目的として作成されています。

診療フローへの導入において工夫されていることを教えてください

当院では、医師の指示のもと看護師・臨床検査技師が撮影を担当しています。導入当初は操作に慣れず、上手く撮影できない時期もありましたが、繰り返し撮影している中で要領を掴み、今では問題なく検査できています。撮影した眼底写真は患者様にも見てもらいながら説明していますので、私たちも頑張ってきれいな写真を撮りたいと思っています。

撮影環境は、暗室の方が撮影しやすいので、検査前に暗闇に慣れていただく工夫もしています。これまでに同じ検査を実施したことがあるか、過去の経験を聞いて、初めての方には、「フラッシュの強い光が目に当たりますよ」など、あらかじめ情報を説明して検査に臨んでいます※。暗室の中でのフラッシュは余計に強い光と感じやすく、驚かれる患者様もいらっしゃいますので、撮影される直前の声掛け含め、事前のコミュニケーションを大事にしています。

※検査にあたっては、添付文書の禁忌・禁止事項(光過敏の患者様等)に該当しないことを事前に確認しています。



眼底撮影をしている日本糖尿病療養指導士 看護師の加藤里美さん

また、私たちからは、必ず“何のためにこの検査を実施しているか”を患者様に説明し、コミュニケーションを取っています。糖尿病の3大合併症について改めてお話することによって、血糖コントロールや、定期的な眼底検査の重要性をお伝えするようにしています。視覚的にわかりやすいようにチラシも作成しました。

Ryan Scopeを導入する前は、「目」に関して話をする機会が少なかった事に気づきました。今回の導入をきっかけに、患者様としっかりお話しできる体制につながったと思います。(鈴木看護師)



糖尿病の合併症について患者様に説明するチラシ

今後の活用展望

Ryan ScopeとJulie Eye、またクレアボ社の取り組みが、眼科の先生方にもっと知っていただけたら内科・眼科の連携がよりいっそう深まると思います。

近隣の眼科の先生方とも眼底検査について話をすることがありますが、お互いの状況について共通理解が進めば、患者様に対して適切な医療を提供することができると思います。私たちのような取り組みによって、患者様が眼科受診の大切さを再確認され、眼科受診へ繋がっていることが大切だと思います。(加藤先生)

(インタビュー:2025年5月)

販売名: 眼底撮影装置 Ryan Scope／ライアンスコープ
一般的名称: 眼底カメラ
認証番号: 304ADBZX00087000
特定保守管理医療機器

販売名: 画像解析ソフトウエア Julie Eye／ジュリーアイ
一般的名称: 眼底カメラ用プログラム(眼撮影装置用プログラム)
認証番号: 304ADBZX00119000
*1本品は医師による診療を補助するプログラムであり、検出した症状より自動的に眼疾患の診断を行うものではない。したがって、専門医は自身の責任において、眼の精密検査や他の検査の結果から最終的な診断を行うこと。
*2詳細は製品の添付文書を参照ください。

本資料に記載の内容は、取材時点における各医療機関での使用経験および個人の見解に基づくものであり、すべての医療機関で同様の結果を保証したり、特定の機器の使用を推奨するものではありません。

CLAIRVO TECHNOLOGIES
発行元：クレアボ・テクノロジーズ株式会社
〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 11-4
www.clairvotech.com

MiiS Medimaging Integrated Solution Inc.
製造業者：Medimaging Integrated Solution Inc.
3F. No. 24-2, Industry E. Rd. IV. Hsinchu Science Park, Hsinchu, Taiwan 30077.

2026/08改訂版